

各高齢者施設の管理者 殿

大分県福祉保健部高齢者福祉課長

新型コロナウイルス感染症のクラスターを早期に探知する
取組のポイントについて（依頼）

平素から、本県の高齢者福祉行政推進に格別のご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

また、新型コロナウイルス感染症の対応につきましては、日々の感染対策の徹底にご尽力いただき、感謝申し上げます。

さて、昨日、県内の高齢者施設における第2例目となるクラスターが発生したことを受け、別添のとおり、クラスターを早期に探知する取組のポイントをまとめました。

つきましては、別添のポイントを掲示するなど、施設内にご周知くださいますとともに、県内でも多数の感染者の発生が続き感染リスクが高まっている現状を踏まえ、下記の取組の徹底をお願いいたします。

記

[取組のポイント]

1 毎日の検温で体調の変化を読み取る

…日々の検温により、感染の兆しを早期に探知。平熱よりも1℃程度高い場合は、医療機関を受診し、抗原検査を依頼する。

2 発熱がなくても、咽頭痛、咳などの症状があれば抗原検査を

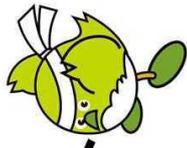
…発熱の有無に限らず、気になる症状があれば、医療機関を受診し、抗原検査を依頼する。

[お問合せ先]

高齢者福祉課 介護サービス事業班
担当：梶原、中村 TEL (097) 506-2682



クラスターを早期に探知するための取組のポイント

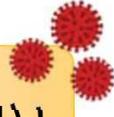


毎日の検温で体調の変化を読み取ろう



- ◆ 検温するのは、体調の変化を読み取る(感染の兆しを早期に探知する)ためです。
- ◆ 起床直後や食後、入浴後は避け、1日2回を目安に検温しましょう。
- ◆ 記録するだけでなく、体温の経時変化をチェックし、平熱より1℃程度高いときは発熱と考え、ためらわずに受診し、抗原検査をお願いしましょう。
- ◆ 特に職員の方は、出勤しない日の体温測定をお忘れなく。

発熱がなくても、咽頭痛、咳などの症状があれば抗原検査を



- ◆ これくらいなら大丈夫だろう、もう少し様子を見よう、と思っているうちに感染が広がる可能性があります！！
- ◆ 特に高齢者は、はっきりとした症状が出にくい場合があります。
- ◆ いつもと様子が少し違うなど、発熱の有無に限らず気になることがあればためらわずに受診し、抗原検査をお願いしましょう！

先の見えない辛い日々が続きますがあと少しと信じて…みんなであつた励ましながら乗り切っていきましょう!!

